

## 令和6年度第1回飛騨・世界生活文化センター評価員会議 議事録

○日時 : 令和6年8月28日(水) 14:00~15:30

○場所 : 食遊館3階 特別応接室

○出席者 :

### 【評価員】

岩塚 久案子、沖畑 康子、河渡 正暁、布目 美智男、山田 雅彦

### 【指定管理者 飛騨コンソーシアム】

六角裕治統括、森清美企画部長、掛上施設管理部長、三井予約運営部課長

### 【岐阜県(文化創造課)】

林管理調整監、岩田文化施設係長、高島文化施設係主事

### 【評価員会議 議事録(質疑応答・意見)】

布目評価員

- ・施設見学に同行させてもらったが、管理が行き届いており大変驚いている。
- ・広報について、最近はチラシを見ない人が多い。インスタ等のSNSがあれば…と思い、先ほど調べたところアカウントはあることを知った。現在はインスタグラムにおいて告知をされているようだが、イベントの様子など、実績についても投稿できると良いと思う。またLINEを利用した会員制の告知や、予約ができるようになると利便性が上がり良いと思う。

六角統括

- ・最近は高山市民時報の読者も半減していると聞いています。イベントごとに広報の方法を変えていくことを検討しなければならないと認識しています。
- ・SNSによる相互交流は難しいと考えていますが、イベントの様子を動画としてアップするなど検討していきます。

岩塚評価員

- ・11名の職員で運営をされているとのことだが、オーバーワークとなっていないか。

六角統括

- ・週2日は必ず週休日となるようにローテーションを組んでいます。また残業代も完全支給としています。
- ・常にハローワーク等で職員の募集をかけていますが、土日出勤があり、また冬場は雪かき等の作業もあることからなかなか応募が少ない状況です。

- ・今年度は高卒の社員を2名雇用しました。彼らの指導に時間をかけています。

#### 岩塚評価員

- ・特に力を入れている分野や、逆に趣旨と合わずお断りをしたことのある団体等あれば教えてほしい。

#### 六角統括

- ・特に子育て事業には力を入れています。今年度もキッズホールの開催を行い、遊びの場を提供しています。
- ・物販を伴うものについては会社概要をよく確認し、誓約書の提出を求めています。また、今までに事例はありませんが、過去に刑事事件を起こしたような宗教団体等には貸館をお断りする方針としています。

#### 河渡評価員

- ・コンベンションホールや芸術堂の利用者が増えており、努力が見える。また、開催されているイベントも大変質が高い。
- ・手数料について、事業計画よりも支出が増えているのは何かあったのか。

#### 六角統括

- ・新聞に折り込みができるチャンスがあり、急遽折り込みチラシを入れたためです。

#### 河渡評価員

- ・やはり広報の方法については一つの課題である。若年層は新聞を読まない方が多いが、一方で高齢者は新聞からしか情報を得ない方もいる。

#### 六角統括

コンビニエンスストアにポスターを張ったり、チラシを置いたりする方法が一番効果があると感じています。最近はポスターにQRコードを載せ、そこから申し込みができるようにしました。

#### 沖畑評価員

- ・職員の方向性の指導まで行き届いておりとても良いと感じる。
- ・利用者の満足度について重要になってくると思うが、アンケートは紙媒体で行っているのか。紙媒体だと、やはりサンプル数が少ないため、QRコード等による方法も取り入れ、回答数を増やすことで、今後のイベントの方向性や広報の方法の解析にもつながる。

#### 六角統括

・現在、イベントの参加者からはアンケートの回答を比較的多く得られていますが、貸館の利用者からは回答があまり得られていません。QRコードによる方法も検討していきます。

#### 山田評価員

・資料1（p12）について、応接会議室の貸館の目標設定が他より低いのはなぜか。

#### 六角統括

・応接会議室はソファとローテーブルの会議室であり、一般の会議や飲食等に向かず、利用方法が限られているためこのような目標設定となっています。公演等の来賓の控室として使用されることが多く、料金設定も半日から時間単位に変更し、利用しやすくなったのではないかと思います。

#### 山田評価員

・高山市では除雪に係る費用について、不用額は返還する運用であったが、飛騨センターではどうか。また、災害級の豪雪等で予定より費用が必要となった際はどうか対応しているのか。

#### 岐阜県

指定管理料は定額としているため、不用額の返還はありません。

また、協定書において、災害等の想定し得ない事象への対応については、別途協議をすることと定めています。

#### 山田評価員

・基本協定の備品一覧について、岐阜県の買ったものと指定管理者が買ったもので、管理を分けているのか。

#### 岐阜県

・取得価格5万円以上のものは岐阜県の備品として登録をしています。飛騨センターにはおおよそ1,400の備品がありますが、岐阜県では2年に1度すべての備品を確認する現物実査を行っています。

なお、5万未満の物については消耗品としての取り扱いとしています。